

水準	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
評価項目 5. 事業所等の業務の 実地監査	事業所等の法人業務の 実際の場である現地に 赴いてその業務遂行を 監査しなかった。	実地監査を行ったが、そ の準備や事後報告は事 務局が主に行っており、 自ら踏み込んだ監査をし なかった。	実地監査の対象設定の 段階から自らが総合的な 判断で臨み、計画を立案 して監査を行った。	実地監査を自ら総合的 な判断で企画して、監査 を行い、さらに関係者か らの聴取だけでなく自ら 実態調査を行った。	自ら実地調査を行った結 果を、違法性、妥当性の 観点から将来のリスクを 考慮して理事長以下理 事層に勧告を行った。
6. 法人の機関業績目標 の内部評価の結果や 過程に関する監査	法人の機関業績目標の 内部評価に関するだけでは結 果報告を受けただけで特 にアクションをとらなかつ た。	法人の機関業績目標の 内部評価の結果に基づい て、コメントはしたが、国 民の視点からの第三者 的な問題指摘までは行 わなかった。	法人の機関業績目標の 内部評価の結果に基づい て、国民の視点から客観 的な問題指摘や改善勧 告を行った。	法人の機関業績目標の 内部評価の結果のみな らず、その評価方式や運 用実態まで踏み込んだ 監査を行い、その結果を 理事長や理事層に勧告 した。	法人の機関業績目標の 内部評価に関する改善 勧告を、理事長や理事層 に対して行い、実際に改 善に結びつけるように強 いは働きかけを行った。

独立行政法人理化学研究所における業績勘案率の基準について

平成17年4月19日
文 部 科 学 省
独立行政法人評価委員会
科学技術・学術分科会

独立行政法人理化学研究所（以下「研究所」という）の役員退職手当の算定に必要な「業績勘案率」については、「独立行政法人、特殊法人及び認可法人の役員の退職金について」（平成15年12月19日閣議決定）及び「役員退職金に係る業績勘案率に関する方針」（平成16年7月23日総務省政策評価・独立行政法人評価委員会決定）を踏まえた「「業績勘案率」の評価を行うに当たっての基本的考え方」（平成16年12月16日文科省独立行政法人評価委員会決定）（以下「基本的考え方」という）に基づくほか、以下のとおりとする。

1. 「業績勘案率」の決定

(1) 「業績勘案率 ε 」の算出

「機関実績勘案率 α 」と「個人業績勘案率 β 」との配分率 x 、 y （ $x=0.75$ 、 $y=0.25$ ）を乗じ、「基礎業績勘案率 ε' 」を求める（小数点第一位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。）。

$$\varepsilon' = x\alpha + y\beta \quad (x + y = 1, x = 0.75, y = 0.25)$$

ε' : 基礎業績勘案率

α : 機関実績勘案率

β : 個人業績勘案率

x : 機関実績勘案率の配分率

y : 個人業績勘案率の配分率

科学技術・学術分科会（以下「分科会」という）は ε' に基づき、以下の点を勘案して当該役員の ε を決定する。

- ① 在職時に受けた役員報酬に対する法人及び個人の業績の反映状況
- ② 目的積立金の積立状況（ ε が1.5を超える場合は、原則として在職期間のいずれかの年度に目的積立金を積み立てたことが必要であることとする。）

(2) 「機関実績勘案率 α 」の算出

業績勘案率が適用される平成16年1月以降に、当該役員が在職した期間に係る「年度業務実績評価」に基づく各年度の機関実績勘案率を、その在職期間に応じ加重平均して求めた率を α とする。(小数点第一位未満の端数があるときは、これを四捨五入する。)

各年度の機関実績勘案率は、分科会において「年度業務実績評価」における項目別評価の結果を基に当該役員の職責に応じたウエイト付けを行い、基本的考え方の「適切な換算表の参考例(別添1)」に基づいた換算表により、0.0から2.0の間で算出するものとする。

なお、役員が退職した日の属する「年度業務実績評価」が確定していない場合、当該年度の機関実績勘案率は、原則として、その前年度の機関実績勘案率により算出することとし、その際は、理由を付すものとする。

(この際、当該年度が、新たな中期目標・計画の初年度である場合には、当該中期目標・計画に係る評価が存在しないため、当該年度の機関実績勘案率は1.0とする。)

(3) 「個人業績勘案率 β 」の算出

当該役員の任期中の個人的な業績に関しては、基本的考え方の「個人的な業績評価の観点の参考例(別添2)」を基に、予め研究所の長が評価を行った結果も参考にしつつ、分科会が評価し、当該役員の個人業績勘案率 β を0.0から2.0の間で決定することとする。

2. 「業績勘案率 ε 」の決定の実施時期

「業績勘案率 ε 」の算出については、原則として当該役員の退職後速やかに実施する。

3. その他

「独立行政法人理化学研究所における「業績勘案率」の基準について」(平成16年8月9日科学技術・学術分科会決定)については、廃止する。

機関実績勘案率の評価割合に関する換算表

(単位:%)

		項目別評価値					
		S	A	B	F		
機関実績勘案率 α	2.0	$S=100$	$A=0, B=0, F=0$				
	1.9	$90 \leq S < 100$	$S+A=100$	$B=0, F=0$			
	1.8	$80 \leq S < 90$					
	1.7	$70 \leq S < 80$					
	1.6	$60 \leq S < 70$					
	1.5	$60 \leq S < 100$	$80 \leq S+A \leq 100$	$0 < B \leq 20$	$F=0$		
		$50 \leq S < 60$					
	1.4	$40 \leq S < 50$		$0 \leq B \leq 20$			
	1.3	$30 \leq S < 40$					
	1.2	$20 \leq S < 30$		$0 \leq B \leq 20$			
	1.1	$10 \leq S < 20$					
	1.0	$0 \leq S < 10$		$80 \leq S+A \leq 100$		$0 \leq B \leq 20$	$F=0$
		$80 \leq S+A < 100$		$0 < B+F \leq 20$		$0 < F \leq 5$	
	0.9	$0 \leq S+A < 80$	$20 < B+F \leq 40$		$0 \leq F \leq 5$		
	0.8		$40 < B+F \leq 60$				
	0.7		$60 < B+F \leq 80$				
	0.6		$80 < B+F \leq 100$				
	0.5	$0 < S+A+B < 95$			$5 < F \leq 20$		
	0.4				$20 < F \leq 40$		
	0.3				$40 < F \leq 60$		
0.2	$60 < F \leq 80$						
0.1	$80 < F < 100$						
0.0	$S=0, A=0, B=0$			$F=100$			